

令和2年度事業報告及び収支決算について

(第37年度)

令和2年4月1日から

令和3年3月31日まで

I 森林、林業の啓発と緑化事業

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の全国的な広がりにより緊急事態宣言が出されるなど人々の動きが制限され、事業活動、行楽・興行活動などが思うようにできない状況の中で始まりました。長野県においても移動の自粛や人との接触機会の回避の観点から感染防止対策が示され、当基金が関わる緑化関連の行事が相次いで中止されるなど大変厳しい事業運営を強いられました。

このような状況にあって、県内の各地域緑化推進団体はそれぞれの実情に合わせ創意工夫しながら森林の整備や身近な生活環境の緑化等に関する実践的活動を行いました。また当基金においても感染防止対策に配慮しながら関係団体等と協力して啓発事業や支援事業を実施しました。

1 情報誌等による広報、普及宣伝

森林・林業及び環境緑化に対する県民の更なる理解を深めるため、次の事業を実施しました。

情報誌の発行等

ア 情報誌の発行等

基金業務、森林・林業及び環境緑化等について、県民の理解を深めるため、4月の緑化シーズンに併せて緑化キャンペーンを行い、新聞広告、機関誌の発行、その他参考資料の配布を行いました。

機関誌の発行 「緑の基金」No.36 2020 October (9月) 2,000部

国土緑化推進機構 広報誌(グリーンモア)の配布【未実施】

(新型コロナウイルス感染症の拡大により令和2年度は未発行)

イ 緑の情報サービスの推進(ホームページによる情報発信)

当基金が関わる各種行事、森と水の絵本のPR、緑の募金の使途報告など、ホームページを用いて情報を発信し、広く県民の森林づくりや環境緑化への実践参加を促進しました。

ホームページ「長野県みどりの情報サービス」トピックス提供 17回

ウ 森林と水をテーマにした絵本づくり

子どもたちがふるさとの森林と川と人との関わりについて関心を促す取組としてシリーズ化している絵本「木が伝えてくれる物語」の第8作目(くまさんシリーズ3作目)として、絵本作家の藤岡牧夫氏に作成依頼した「森のくまさん 南信州へ行く」を刊行しました。

刊行部数 2,000冊

寄贈部数 458冊(県内全小学校・特別支援学校 384校、南信州管内全保育園・保育所・幼稚園 74カ所)

2 県民の集い等の開催

(1) 令和2年度ふるさとの森づくり県民の集い(第71回長野県植樹祭)

令和2年6月6日(土)下水内郡栄村「さかえ倶楽部スキー場」において予定されていたふるさとの森づくり県民の集い(県植樹祭)は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和3年度に延期されました。

(2) 森林教室の開催

ふるさとの森づくり県民の集いに併せて計画していた森林教室(自然観察会)についても中止となりました。

(3) 地区緑化推進団体による森林の感謝祭などの開催

緑と水の森林ファンド事業(国土緑推)の助成を受け、地区緑化推進団体の実情に即し、森林の感謝祭、植・育樹などの体験型行事等を計画し、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した規模の縮小や取組内容を工夫して実施しました。

3 講演会の開催等

(1) 緑に親しむ集い

樹木観察や木の実を使った工作など様々なふれあい体験を通じ、県民が森林や森林の恵みに親しむとともに関心を深めることができるよう、県林業総合センターの体験学習施設と共催で、定期的に森林整備作業、自然観察などを取り入れた様々な体験型の集いを、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら開催しました。

実施状況：年間19回開催 参加者223組 360人(うち子ども141人)

(2) 森林フォーラム

身近な里山の森林整備を推進するため、「森林フォーラム」を長野県、林業関係団体等と共催して実施することを計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。

4 森林づくり等実践参加の促進

(1) 林業関係等コンクールの開催

林業関係等コンクールを長野県、林業関係団体等と共催で実施し、健全な森林づくりや環境緑化等に係る様々な活動や成果を顕彰し、県民の実践参加を促進しました。

ア ふるさとの森林づくり賞及び林業関係ポスター等コンクールの開催

森林づくり、森林環境教育などに優れた功績があった方の顕彰を長野県、林業関係団体と共催で実施しましたが、表彰式については、新型コロナウイルス感染症対策に配慮して中止となりました。

小・中学校、高等学校の児童・生徒への環境緑化思想及び野生鳥類の保護の高揚を図るためのコンクールは、中止しました。

・ふるさとの森林づくり賞

森林づくり推進の部	長野県緑の基金理事長賞	1団体
森林環境教育推進の部	長野県緑の基金理事長賞	1団体

- ・林業関係ポスター等コンクール

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため休校となったため、学校における取組が困難であることから中止。

イ 木工工作コンクールの開催

小・中・特別支援学校の児童・生徒が木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割を学び木の文化を大切にする心を育てるため、身近な木材を活かして自由な発想で創作した木工・工作作品のコンクールを長野県木材青壮年団体連合会と共催で実施しました。

表彰式 令和2年12月5日(土) 長野市役所第一庁舎(長野市)

長野県緑の基金理事長賞 1作品 (応募作品数 2,915点)

(2) 森林環境教育指導者研修会の開催

子どもたちが自然に親しみつつ森林の役割や森林づくりの重要性などについて体験的に学習できるよう、長野県の森林の現状をはじめ、森林環境教育に関する知識や森林に親しみながら理解する手法等の研修会を教育指導者である教職員を対象に計画したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止しました。

5 都市緑化等の環境整備

(1) 学校環境緑化モデル事業(国土緑化推進機構 直接事業)

学校環境の緑化を通じて、青少年への森林環境教育を推進することを目的に、小・中学校敷地内及び周辺的环境緑化、環境教育のフィールドの整備(樹木の植栽・芝生化、樹木の手入れ、ピオトープ等)の取り組みに対し助成しました。

令和2年度は、緑の基金より推薦した以下の3校で実施されました。

- ・上田市立豊殿小学校
- ・小谷村立小谷小学校
- ・長野県飯山養護学校

(2) 学校林を活用した森林環境教育促進事業(国土緑化推進機構 直接事業)

学校林を活用して、小・中学校の森林環境教育(林業体験活動を含む)を促進するため、森林環境教育を学校と連携して行う団体等に対し助成する事業ですが、令和2年度は申請がありませんでした。

(3) 子どもたちの未来の森づくり事業(国土緑化推進機構 直接事業)

未来の子供たちに豊かな国土を引き継ぐために、小中学校生の「森の学び」を支援するとともに森林環境教育のフィールドとして地域のシンボルとなる森づくりの取り組みに対する助成を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止しました。

計画実施団体 (一社) 富士見町開発公社(多摩市立八ヶ岳少年自然の家)

(※令和3年度に実施予定)

6 その他

国土緑化運動・育樹運動標語の募集

県内の小学生及び一般より募集のあった作品61点の中から11点を長野県から推薦し、各県の推進作品を中央で審査された結果、令和3年用標語として本県から次の1点が入選しました。

「森をもりもり！ 盛り上げよう！」（林業大学校2年生 岡本春幸さん）

7 基本財産の運用益

基本財産の運用益については、受取利息収入として当初予算1,201,180円を見込んだところ、決算額は591,928円と減額になりました。これは、額面2億円の債権を令和2年4月に売却したことによるものです。

8 出捐金の内訳

令和2年度末

5億8,985万6,019円

（前年度よりの増加額）

0円

〈内訳〉

- ・長野県 150,000,000円（25.4%）
- ・市町村 123,000,000円（20.9%）
- ・民間 316,856,019円（53.7%）

II 緑の募金事業

「長野県ふるさとの森林づくり条例」の基本理念にある「県民の理解と主体的な参加」を念頭に、「緑の募金」運動を積極的に展開し、森林づくりとみどりづくりの大切さの普及啓発に努めました。

4月1日から5月31日までの「緑化推進特別強調期間」を中心に緑を守り育てる緑化意識の向上を図るため、広報等を通じて目標とした募金額を達成すべく取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症対策への協力要請もあり例年どおりの活動ができませんでした。

また、例年実施している4月1日のキャンペーンにおける県内4校の高校生による県知事・副知事訪問と緑化運動等への協力依頼、5月連休に長野駅周辺で県内3校の高校生と中部森林管理局、長野地区緑化推進委員会及び長野県の協力の下に行っていた街頭募金については中止としました。

そのような大変厳しい状況もあり、令和2年の緑の募金額は全県で総額約7,100万円と目標額7,800万円に対して91.0%の達成率となりました。

この募金により、地区緑化推進団体への交付金を通じて県内各地区の実情に応じた森林の整備、緑豊かな生活環境づくり、次代を担う子供たちの育成などを推進するとともに、緑の募金による公募事業を広く周知し、健全な森林づくりや身近なみどりづくり、県産材の利活用、森林環境教育などに係る地域における自発的活動を支援したほか、みどりの少年団が行う森林・環境緑化等の学習実践活動を長野県みどりの少年団連盟を通じて促進しました。

1 緑の募金活動事業

(1) 緑化推進の啓発宣伝

ア 広告、CM等キャンペーン

緑化思想の普及啓発のため、新聞各社への緑化広告の掲載、ラジオ等によるPRを「緑化推進特別強調期間」中に実施しました。

- ・ 新聞広告掲載 4月上旬（信毎、朝日、毎日、読売、中日、産経）
- ・ 市町村広報への掲載依頼（市町村ごとの特徴的な緑化活動を特集記事の掲載）
- ・ ラジオCM 4月1日～14日（14日間）AM、FM 各1社

このほか国土緑化推進機構がラジオCMを実施

令和2年4月1日～4月30日までの朝7時台、月・水・金曜日の週3回
県内は信越放送

- ・ 着胸キャンペーン 緑の羽根、ピンバッジ
4月1日（水） 県知事・副知事訪問 → 中止（計画予定者：高校生16名）
- ・ 街頭募金による広報活動
5月2日（土）長野駅前 → 中止
- ・ 「長野の林業」への募金広告（募金告知・ピンバッジ寄附）

イ 企業等と連携した募金活動

- ・長野トヨペット(株)「ふれあいグリーンキャンペーン」 → 中止
(計画したセレモニー：緑化木及び職場募金の寄付 受取者 知事)
- ・(一社)長野県環境保全協会の協力を得て、会員企業約 400 社に募金への依頼を行いました。

ウ 緑の相談

県民の緑の保全、緑化木等への理解と関心が深まるよう、身近な緑化樹木の衰弱や病虫害等樹木に関する相談に対して迅速に対応する相談窓口業務を実施しました。

相談窓口 地域振興局林務課
診断委託先 一般社団法人日本樹木医会 長野県支部
一般社団法人長野県造園建設業協会

(2)募金資材の購入

募金活動の効率的な展開を図るため、緑の羽根、募金箱等の募金資材の購入や募金PRのためのチラシ、家庭募金用封筒の作成等を行いました。

(3)募金活動の推進

令和2年の緑の募金額 7,800 万円を目標に緑の募金活動を行いました。

「緑化推進特別強調期間」においては、チラシ、新聞などを利用し広く緑の募金を呼びかけましたが、家庭募金、企業募金、職場募金、街頭募金などは、一部活動を縮小しながら、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じたうえで募金活動を実施しました。

4月1日(水) キャンペーン初日PR活動 → 中止

(例年、県庁・林業センター・県長野合同庁舎内を巡回して募金の呼び掛け)

5月2日(土) 長野駅前での街頭募金 → 中止

(例年の実施内容)

高校生、中部森林管理局、長野地区緑化推進委員会、県林務部が参加して実施

6月6日(土) 県植樹祭 → 中止

(会場の緑の募金ブースにて募金箱設置、森林教室バスツアー車中での募金協力依頼)

10月3日(土) AC長野パルセイロホームゲームでの街頭募金を、長野地区緑化推進委員会、県林務部の協力をいただき実施しました。

2 公募事業の実施

特定非営利活動法人等緑の募金公募事業の要件を満たす団体が、環境緑化、森林の整備、木材の利活用、野生動物との共生など公益的な活動を推進するために行う事業を公募し、内容を審査の上、交付金を交付するとともに、事業者には緑の募金により事業を実施したことを明示するよう依頼しました。

交付対象 10 団体 交付決定額計 141 万円

3 緑化の推進等

(1) 森林の整備

森林整備についての県民の意識の向上と理解を深めるため、植栽、下刈、除間伐などの森林整備に要する苗木・作業用具の購入、指導者の謝金、傷害保険等の経費に対して助成(交付金)しました。

(2) 森林整備講演会・研修会等の開催

森林づくりの重要性、地球温暖化防止に係る森林の役割等の周知を図るため、各地区で行われる講演会・研修会の開催に要する経費、山火事防止の広報活動等に助成(交付金)しました。

(3) 公園等公共施設の緑化

ア 学校緑化

学校内環境の緑化、学校林の整備等のため、苗木購入、作業用具購入、指導者謝金等の経費を助成(交付金)しました。

イ 公園等公共施設の緑化

公園、公民館、福祉施設等の公共施設の環境緑化を図るための苗木購入、作業用具購入、指導者謝金等の経費を助成(交付金)しました。

(4) 苗木の配布

生活環境の緑化や緑に関心を持ってもらうことを促進するため、緑化木頒布会の苗木等の購入の経費を助成(交付金)しました。

(5) 植樹・育樹祭等行事

森林を守り育てる意識の高揚等を図ることを目的に地区緑化推進団体や市町村等で行う植樹・育樹祭等行事の開催の経費を助成(交付金)しました。

(6) コンクール・講演・研修会

森林・林業のPR及び緑化思想の普及啓発を図るための各種コンクール及び緑化功労者の表彰式等の開催に係る経費を助成(交付金)しました。

4 みどりの少年団育成

次代を担う少年たちが、自然とのふれあいを通じて、森林・林業の重要性を理解し、緑を愛し育てる心を養い、人間性豊かな健康で明るく育つよう、県内のみどりの少年団が行う森林・環境緑化等の学習実践活動について、長野県みどりの少年団連盟を通じて助成するとともに、

地区ごとの特性・実情に応じて地区緑化推進団体からも団に対し活動助成金等を交付する等、みどりの少年団の実践活動及び結成促進を支援しました。

なお、長野県みどりの少年団連盟と共催して行う、長野県みどりの少年団交流集会を7月28日に長野県望月少年自然の家（佐久市）で計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止としました。